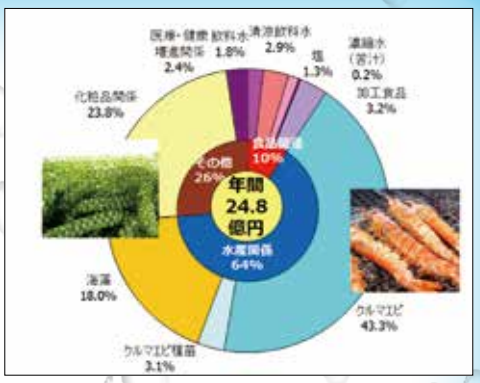
「海洋深層水利用が久米島にもたらしたもの」

海洋深層水の利用は、久米島にさまざまな効果をもたらしています。産業面でいえば、海洋深層水を使った車えびや海ぶどう、カキ養殖といった水産養殖、化粧品やミネラルウォーター、食品等がよく知られています。また、島内スーパーでは海洋深層水の冷たさを利用して育てた野菜も売られています。これらの海洋深層水関連産業の生産額は年間約25億円に達し、久米島の主要産業の1つとなっています。

加えて、2012年度からは、沖縄県海洋深層水研究所で海洋温度差発電の実証試験が始まったことで、産業振興に加えて再生可能エネルギーの面からも国内外の注目を集めてきました。コロナ禍前の2018年度に日経BP社が調査した「全国自治体・視察件数ランキング」では、久米島の「海洋深層水複合利用プロジェクト」は県内1位・全国21位（人口10万人未満の自治体1450市町村中）にランクインしています。また海外からも、熱帯・亜熱帯の島嶼国を中心にこれまで67か国もの国々からの視察を受け入れています。海の地域資源利用分野で、久米島は「世界のお手本」の1つになっていると言えるでしょう。



【図タイトル】
久米島の海洋深層水利用産業生産額内訳
（出典　2017 年 9 月 内閣府沖縄総合事務局経済産業部「平成 29 年度 離島地域における海洋深層水を活用した地域活性化可能性調査 調査報告書」）

教育面での効果も見逃せません。毎年、島内の小中学校の子どもたちが沖縄県海洋深層水研究所の見学に訪れ、サンゴや水産養殖の専門家から様々な研究開発の説明を受けています。他の自治体にはない、貴重な学びの機会です。久米島高校はハワイ島のコナワエナ高校との短期交換留学を続けていますが、これも、海洋深層水利用と海洋温度差発電のとりくみをきっかけに結ばれた姉妹島提携の一環としてスタートしたものです。

このように海洋深層水は、産業振興だけでなく、島外との交流や子どもたちへの教育など島の中で色々な分野に面白い影響を与えているのです。

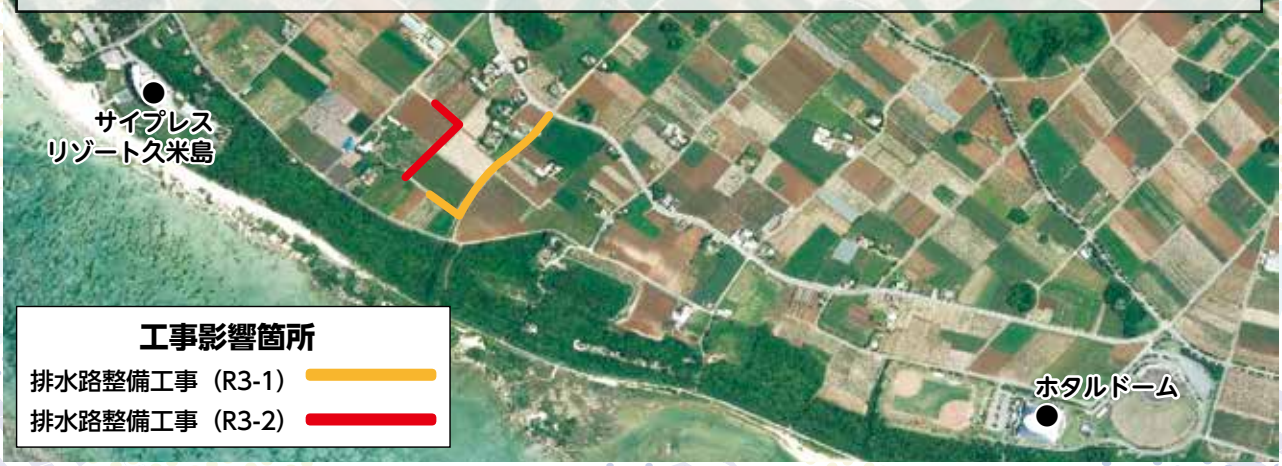
次回は、今年、久米島との姉妹島提携10周年を迎えたハワイ島における、世界最大規模の海洋深層水利用について紹介します。

（一社）GOSEA 事務局　岡村盡（地域おこし企業人）
久米島町プロジェクト推進課

工事に伴う道路交通規制のお知らせ

清水第１地区排水路整備工事 (R3-1)、(R3-2) に伴い道路交通規制を実施致します。
工事実施により、ご不便をお掛け致しますが、ご理解と協力をお願い致します。

工事影響期間：令和３年 10月18日～令和４年 3月31日
（工事進捗状況により変更の可能性あり）



お問合せ　建設課 ☎985-7125

Universal Design
UD FONT

☑ 本誌はメディア・ユニバーサルデザイン・アドバイザー検定３級取得者の確認・校正作業を経て発刊しています。

広報誌「広報くめじま」はユニバーサルデザイン（UD）の考え方に基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

2021（令和3年）11月号 発行／久米島町役場　編集／久米島町役場総務課　TEL.098-985-7121　FAX.098-985-7080
久米島町役場ホームページ http://www.town.kumejima.okinawa.jp FMラジオ／ラジオ広報ハイサイくめじま　平日午前10時～11時・午後5時～6時［再放送］